

【史料⑳】

借区譲渡受願

群馬

熊谷県管下上野国甘楽郡中

小坂村に於いて、明治七年三月廿五日字金久保

山鉄鉦借区丹羽正庸願い濟み候処、

病氣につき、この度熟談のうえ由利公正・

三浦安兩人へ坑業悉皆譲渡したく

候につき、証券書き換え御下し渡し下されたく、これにより

⑳ 金久保山鉄鉦借区譲渡受願

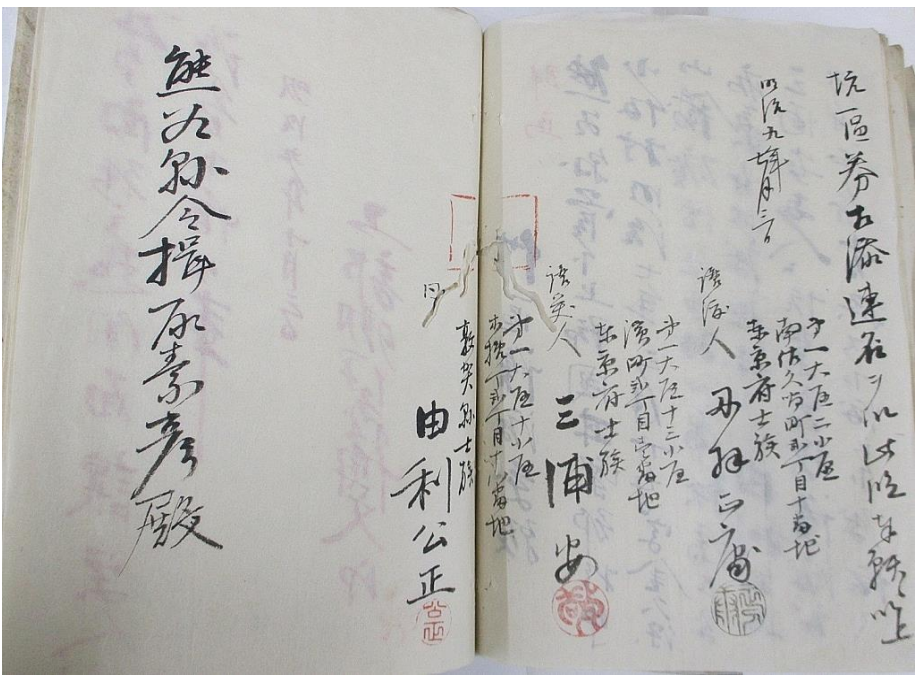
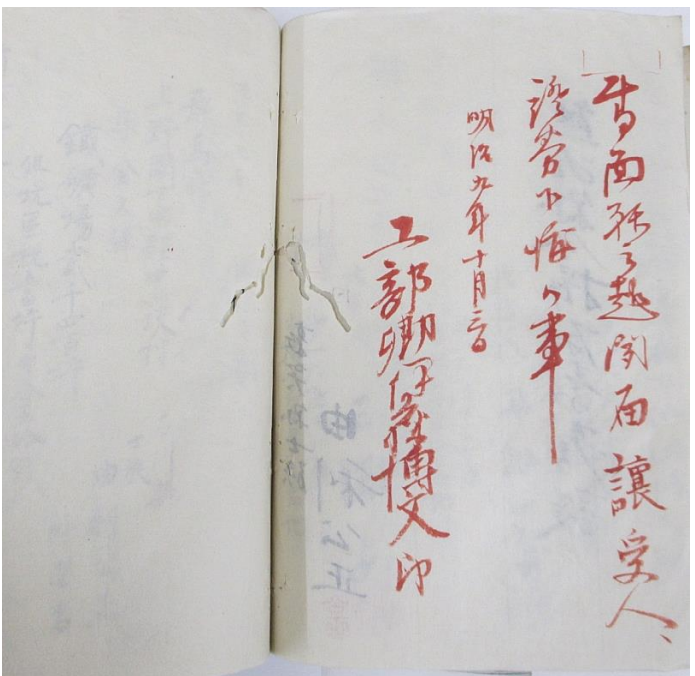
明治9（1876）年10月3日

この史料は、由利公正・三浦安が、丹羽正庸から金久保山鉄鉦借区（中小坂鉄山）を譲り受けることを熊谷県令楫取素彦に願い出た文書です。

由利は、元福井藩士で東京府知事なども務め、三浦も東京府知事・宮中顧問官などを務めた明治政府の要人でした。

由利らの作った山一組は、同9年には東京府から瓦斯（ガス）燈用の鉄管を大量に受注し製造を開始しました。しかし製作に失敗し、大量の借財を出したため、同11年中小坂鉄山は工部省に移管されました。

群馬県行政文書 A0181A0M 14



坑区券相添え連名を以て、この段願い奉り候、以上

第一大区二小区

明治九年

南佐久間町式丁目十番地

七月三日

東京府士族

譲渡人 丹羽正庸

印

第一大区十三小区

浜町式丁目壹番地

東京府士族

譲受人 三浦安

印

第一大区十小区

木挽丁式丁目十八番地

敦賀県士族

同 由利公正

印

熊谷県令楫取素彦殿

書面願いの趣聞き届け、譲り受け人へ

証券下げ渡し候事

明治九年十月三日

工部卿伊藤博文 印